

人文学部共通教育科目 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
	学科DP								
学修指針									
到達度lv4									
到達度lv3									
到達度lv2									
到達度lv1									
学修指針・学修到達度	学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
	到達度lv4	【関心・分析・探求・自立】 広く社会・自然・人間について多角的な知見を有し、論点を整理しながら、解決に向けて確実に探求し続けることができる。	【遵守・忠告・道徳・倫理】 社会的ルールを遵守しつつ、仏教をはじめとして、人間存在に関する深い洞察を学び、人格的向上を目指すことができる。	【会話・弁論・論述・共感】 自らの考えを論理的に口頭で説明したり、高度な内容を、読者の反応を予想しつつ的確で効果的な表現を用いつつ文章化したりすることができる。	【社会・参加・公共・責任】 現代社会の仕組みを深く理解し、自立した社会人としての責任感を身につけ、ボランティア活動など、社会をよりよくするための活動に参加することができる。	【基礎・応用・実践・自学】 専門分野に関する深い知識を有し、当面する諸問題に適切に応用しつつ、新たな知見を求めて自らすすんで学習活動を維持することができる。	【批判・論理・証拠・発展】 授業や書物等から得た知識について、実証的に、論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	【基礎・応用・実践・自学】 各専門分野に必要な高度な技術力を修得し、それに見合う各種資格等を取付け、さらに自らの技術を磨きつづけていくことができる。	【発見・模索・計画・解決】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、自分なりの方法を駆使して、計画性をもって解決にまで導くことができる。
	到達度lv3	【関心・分析・探求】 広く社会・自然・人間について、多くの情報を適切に取捨選択しながら整理し、問題意識を深めていくことができる。	【遵守・忠告・道徳】 多くの社会的価値観に触れ、柔軟なものを見方を身につけたうえで、社会のルールを基となる人間性に気付くことができる。	【会話・弁論・論述】 自らの考えを論理的に口頭で説明したり、読者の反応を予想しつつ、的確な表現を選びながら文章にまとめたりすることができる。	【社会・参加・公共】 現代社会の仕組みを理解したうえで、よりよい社会を目指して一市民として社会活動に参加しようとするすることができる。	【基礎・応用・実践】 専門分野に関する深い知識を有し、当面する諸問題に適切に応用しつつ、自分なりの発見を目指そうとすることができる。	【批判・論理・証拠】 授業や書物等から得た知識について、その反証となる事例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	【基礎・応用・実践】 専門分野の技能に習熟したうえで、各種資格を取得したり、各種検定等に合格したりすることができる。	【発見・模索・計画】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決法を考え、解決に向けて実行すべき手順を把握することができる。
	到達度lv2	【関心・分析】 身の回りの事象について、複数の資料に目を通し、問題点を整理することができる。	【遵守・忠告】 自身の健康に気を配り、社会のマナーやルールを守り、自分の周囲の人々の行動にも配慮することができる。	【会話・弁論】 自らの考えをわかりやすく口頭で説明したり、簡潔な表現で文章にまとめたりすることができる。	【社会・参加】 政治や経済など、現代社会の仕組みを理解し自分なりに問題点を見出すことができる。	【基礎・応用】 専門分野に関する知識を備え、各種の知識を自らが当面する問題に応用することができる。	【批判・論理】 授業や書物等から得た知識について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	【基礎・応用】 専門分野で必要とされる基本技術を応用し物事に対応することができる。	【発見・模索】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決を求めて模索することができる。
	到達度lv1	【関心】 身の回りのさまざまな事象について、関心を持つことができる。	【遵守】 自身の健康に気を配り、社会のマナーや集団でのルールを守ることができる。	【会話】 自らの考えを口頭で説明したり、メモにまとめたりすることができる。	【社会】 現代社会の仕組みに関してある程度説明することができる。	【基礎】 専門分野に関する概念や専門用語が理解できる。	【批判】 授業や書物等から得た知識について批判的に対することができる。	【基礎】 専門分野で必要とされる基本技術を身につけることができる。	【発見】 眼前にある課題に対して、その問題点を把握することができる。

人文学部日本文化学科 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
	学科DP	日本文化に関する幅広い教養力と、豊かな人間性の養成		社会人として必要な日本語のコミュニケーション力と、社会性の養成		日本文化に関する専門力と、諸問題に対する的確な判断力の養成		日本文化の創造的担い手となる技術力と、社会で活用していく実践力の養成	
学修指針									
到達度lv4									
到達度lv3									
到達度lv2									
到達度lv1									
学修指針・学修到達度	学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
	到達度lv4	日本の文化・歴史・文学・言語について、多角的な知見を有し、論点を整理しながら、解決に向けて確実に探求し続けることができる。	日本社会の規則を遵守し、仏教をはじめとして、人間存在に関する深い洞察を学び、人格的向上を目指すことができる。	さまざまな知識に基づいた自らの考えを論理的に口頭で説明したり、相手の立場や考えを尊重し、意見交換したりすることができる。	現代の日本社会の仕組みを深く理解し、自立した社会人にふさわしい責任感を持ち共同作業に従事することができる。	日本文化に関する深い専門知識を持ち、さまざまな問題に適切に応用しつつ、新たな知見を求めて自らすすんで学習活動を維持することができる。	授業や書物等から得た日本文化の知識について、実証的に批判し、独自の論理的な考えを育てていくことができる。	日本文化の諸分野について、独自の分析方法を確立し、説得力のある結論を導き出すことができる。	日本文化の問題に対して、積極的に向かい合い、独自の方法を駆使して、計画的に解決まで努力し続けることができる。
	到達度lv3	日本の文化・歴史・文学・言語について、多くの情報を適切に取捨選択しながら整理し、問題意識を深めていくことができる。	さまざまな日本の価値観に触れ、柔軟なものを見方を身につけ、日本社会の秩序や規則の基となる人間性に気付くことができる。	自らの考えを論理的に口頭で説明したり、的確な表現を選びながら文章にまとめたりすることができる。	現代の日本社会の仕組みを理解し、他者とスムーズに共同作業をすることができる。	日本文化の専門知識を深く理解し、さまざまな問題に適切に応用しつつ、自らの考えを持つことができる。	授業や書物等から得た日本文化の知識について、その根拠となる資料を挙げつつ、論理的に批判することができる。	日本文化の諸分野について、さまざまな分析方法を用いて、的確に解決することができる。	日本文化の問題に対して、自ら進んで計画的に解決する方法を把握することができる。
	到達度lv2	日本文化の事象について、複数の情報に目を通し、問題点を整理することができる。	日本の文化に裏付けられた秩序や規則を守り、自分の周囲の人々の行動にも配慮することができる。	自らの考えを効果的に口頭で説明したり、簡潔な表現で文章にまとめたりすることができる。	現代の日本社会の仕組みを理解し、自分なりに問題点を見出すことができる。	日本文化の専門知識を持ち、自らが関心を持つ問題に応用することができる。	授業や書物等から得た日本文化の知識について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	日本文化の諸分野について、身につけた分析方法を応用し、諸問題に対応することができる。	日本文化の問題に対して、自らすすんで向かい合い、その解決を模索することができる。
	到達度lv1	日本文化のさまざまな事象について、関心をもつことができる。	日本の文化に裏付けられた秩序や規則を守ることができる。	自らが理解したことを、正確に話したり、相手の話を的確に聞き取ったりすることができる。	現代の日本社会の仕組みに関する基本的な事項を、説明することができる。	日本文化に関する基本概念や専門用語を理解し、説明することができる。	授業や書物等から得た日本文化の知識について、矛盾点を見出すことができる。	日本文化の諸分野について、分析方法を身につけることができる。	日本文化の問題に対して、その問題点に取り組もうとすることができる。

人文学部国際文化学科 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
	学科DP	世界の言語・社会・文化等に関する基本的な知識の獲得と、多様な価値観を受容することができる豊かな人間性の育成		社会人にふさわしい教養・語学力・表現力とともに、社会の一員として主体的に活動する意欲と責任感の育成		世界の言語・社会・文化等に関する専門的な知識の獲得と、様々な問題に対する分析力・判断力の育成		世界の言語・社会・文化等に関する専門的な知識を広く応用して、社会に還元する技術力と実践力の育成	
学修指針									
学修到達度									
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力	
到達度lv4	世界の社会・文化に関する知識を体系化し、高度な文化的交流を企画・実践することができる。	世界の社会・文化に人間存在の普遍性を見出し、世界市民として行動することができる。	幅広い話題について相手の意図を理解し、自分の考えを正確に表現しながら議論することができる。	自らの社会的な使命と責任を自覚し、主体的に社会的な活動をリードすることができる。	専門領域の先行研究と関連分野の情報を収集し、知識を体系化して活用することができる。	研究領域の先行研究を批判的に分析し、独自の主張を論理的に展開することができる。	研究を論理的で説得力のあるレポートやプレゼンテーションにまとめ、質疑応答ができる。	問題を自ら発見し、主体的・計画的な取り組みを通して、解決策を導くことができる。	
到達度lv3	世界の社会・文化に関する幅広い知識があり、一般的な文化的交流を実践することができる。	世界の社会・文化に人間存在の普遍性を見出し、世界市民としての自覚を持つことができる。	一般的な話題について相手の意図を理解し、自分の考えを主張しながら議論することができる。	自らの社会的な使命と責任を自覚し、主体的に社会的な活動に取り組むことができる。	専門領域の先行研究と関連分野の情報を収集し、知識を整理して活用することができる。	研究領域の先行研究を批判的に分析し、反証をあげながら評価することができる。	研究を論理的で説得力のあるレポートやプレゼンテーションにまとめ、発表することができる。	問題を自ら発見し、主体的・計画的な取り組みを通して、解決策を考えることができる。	
到達度lv2	世界の社会・文化に関する基礎的な知識があり、文化的交流の意義を理解して、自発的に参加することができる。	世界の社会・文化に人間存在の普遍性を見出し、世界市民としての規範を遵守することができる。	自分の専門分野の話題について相手の意図を理解し、自分の考えを述べながら議論することができる。	自らの社会的な使命と責任を理解し、社会的な活動において、役割を全うすることができる。	専門領域の先行研究を中心に、様々な情報を収集し、整理することができる。	研究領域の先行研究を分析し、論理的な矛盾点を見出し指摘することができる。	研究や調査を統一的手法でレポートやプレゼンテーションにまとめ、発表することができる。	所与の問題に主体的に取り組み、様々な解決策を検討し、提示することができる。	
到達度lv1	世界の社会・文化に関する基礎的な知識があり、文化的交流の重要性を理解することができる。	世界の社会・文化に人間存在の普遍性を見出し、世界市民としての規範を理解することができる。	自分に関わりのある話題について相手の意図を理解し、自分の考えを述べながら意見交換することができる。	自らの社会的な使命と責任を理解し、社会的な活動において、役割を担うことができる。	専門領域の先行研究を中心に、様々な方法を活用して情報を収集することができる。	研究領域の先行研究を分析し、主張の正当性を冷静に評価することができる。	研究に関する情報を収集し、統一的手法でレポートやプレゼンテーションにまとめることができる。	所与の問題に取り組み、様々な解決策を網羅的に検討することができる。	

人文学部人間関係学科 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成		自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成		社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成		文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成	
	学科DP	人間関係についての基礎的な教養と、人間性への深い理解力の養成		他人に共感理解するコミュニケーション力と、社会に積極的に関わろうとする自立した思考力の養成		人間関係に関する専門的な知識と、人間社会の多様なあり方を理解し的確な判断ができる適応力の養成		社会と文化に関する知識を日々の暮らしの中で生かせる技術力と、多様な問題を解決すべく自ら行動する実践力の養成	
学修指針									
学修到達度									
学修指針	教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力	
到達度lv4	人間関係に関する十分な基礎的教養を有し、さらにそれを自分で高めていくことができる。	自立した人間としての思考力を有し、自分自身を理解し自己の価値観・世界観を確立している。	他人に共感理解できる力を有する。また多様な価値観に応じて柔軟に自分を主張・発信することができる。	積極的に多様な集団や社会と関わることができ、自己の役割を考え貢献できるよう努力し達成する力がある。	専攻するテーマを中心に、人間関係に関する専門的な知識を有し、それを高める方法を知っている。	人間や社会に関して直面する諸問題について課題を発見し、自分なりの解決策を見つけることができる。	社会と文化に関して学んだ知識・技術を自分の生活に取り込む適応力があり、さらにそれを高めることができる。	生活する中で起る多様な問題に積極的に取り組む行動力と、解決できる実行力がある。	
到達度lv3	人間関係に関する基礎的な知識を有し、それを高める方法を知っている。	自立した思考の必要性を理解し、自分自身の価値観を構築しようと努力している。	他者の存在を公平に認識し、それに対して理解し共感しながら自分の意見を発信できる。	グループワークなど集団作業において目標を自覚し、自分の役割を考え達成するよう努力できる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理した上で根拠を示しつつ考察することができる。	人間や社会に存在する多様な問題について自己の視点から分析し、自分の言葉で論じることができる。	社会と文化に関して学んだ知識や技術を自己の生活に活かそうと努力できる。	生活する中で起る多様な問題に自分なりに取り組む行動力と解決できる実行力がある。	
到達度lv2	自分自身の人間関係に関する基礎的な知識で、足りない部分を認識できる。	自分自身について客観的に見つめることができるようになる。	他者の存在を公平に認識し、それに対して理解し共感することができる。	チームワークを理解し、その一員として積極的に関わろうとする意欲があり、実行できる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理することができる。	人間や社会におけるさまざまな問題を自己の関心に即して具体的に挙げるることができる。	社会と文化に関しての知識や技術と、自分の生活との関連性を認識できる。	生活する中で起る多様な問題に自分なりに取り組む行動力がある。	
到達度lv1	人間関係について、自分の知っていることを述べるができる。	自分らしさとは何かを考えるようになる。	他者の存在を認め、それぞれの価値観があることを理解している。	集団活動のメンバーとして何が求められるか、必要な要素を知ることができる。	専攻するテーマについて、情報を集めることができる。	人間や社会に関するさまざまな問題があることを理解する力がある。	社会と文化に関しての知識や技術を自分のものにしていく。	生活する中で起る多様な問題に自分なりに取り組もうと努力する。	

人文学部心理学科 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成				
	学科DP	人の心に関する広汎な知識と、人間に対する深い洞察力の養成	人と人とが織り成す社会の中で役立つ日本語運用能力・プレゼンテーション力と、社会の中で自分の果たす役割を真摯に追求する自己実現力の養成	人間の心理に関する専門的な知識と、心理学の知見を活かしつつ自律的に判断を示すことのできる思考力の養成	心理学に関する深い学識を日々の暮らしの中に活用し社会に貢献するための技術力と、実践力の養成				
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
学修指針・学修到達度	到達度lv4	自己や他者、他者との関係性、社会との関係性から、社会的問題や精神病理について、考えられる。	自己、他者、社会について心理学を基礎的に深く考察し、積極的に自己実現を實踐できる。	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性を獲得し、自己一致した達成感をもつことができる。	現代社会の仕組みを把握し、自立した社会人にふさわしい責任感を持って共同作業に従事することができる。	先行研究や収集した情報を批判的に吟味し、そこから独自の問題提起とその解決法を示すことができる。	先行研究について論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	専攻する研究対象について、適切な分析方法を用いて説得力のある結論を発表することができる。	心理学的な理論と知見を用いて、現代における文化的・社会的な現象について考察することができる。
	到達度lv3	自己や他者、他者との関係性、さらには社会との関係性について問題意識を深められる。	自己、他者、社会について心理学を基礎に考察し、積極的な自己実現を目指して努力できる。	対人場面や集団内での役割や行動の理解ができ、かつ自己を保ちながら前向きな集団行動ができる。	現代社会の仕組みを説明することができ、他者とスムーズに共同作業をすることができる。	与えられた専門的テーマについて、情報を適切に分析した上で、根拠を示しつつ考察することができる。	先行研究について、その反証となる実例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	専攻する研究対象について、適切な分析方法を用いて結果をまとめることができる。	心理学の理論や知見と、日常的な出来事との関連性を意識することができる。
	到達度lv2	自己や他者、そして他者との関係性についての心理学的問題を整理できる。	自己、他者、社会について、心理学を基礎に考察し、自己の生き方を考える姿勢を身につけている。	自己理解ができ他者への肯定的な関心で、交流や会話の脈を汲み共感できる。	現代社会の仕組みを一通り説明することができ、共同作業に加わることができる。	日常の体験を心理学の専門用語を用いて説明することができる。	先行研究について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	専攻する研究対象について、一つの分析方法を持つことができる。	心理学の理論や知見を導いているロジックを正確に理解することができる。
	到達度lv1	自己や他者、そして他者との関係性に関する心理について、関心をもつことができる。	自己、他者、社会について、心理学を基礎に考察することに、興味・関心をもつことができる。	人や他者への関心を持ち、ひとと関わる基本的な心理をもち、あいさつ、要求、説明などができる。	現代社会の仕組みに関して、ある程度説明することができる。	心理学的事象について関心を持ち、自分なりの考えを述べるることができる。	先行研究について批判的に対することができる。	専攻する研究対象について、一つの分析方法を持つことができる。	心理学という学問領域の基礎的な知見に興味をもつことができる。

人文学部住空間デザイン学科 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成				
	学科DP	建築・インテリアデザインから家具、陶芸、織物等くらしの環境に関する基礎的、総合的な知識と、豊かな人間性の養成	住まいとくらしの提案が出来る企画力や発想力、表現力と共に、十分なプレゼンテーション能力と社会性の養成	住まいとくらしの提案が出来る専門的な知識と、多様な価値観の存在を踏まえた柔軟な思考力の養成	住まいとくらしの空間デザインを提案できる多様な技術力と、それを社会の中で広く応用していく実践力の養成				
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
学修指針・学修到達度	到達度lv4	くらしの環境に関する多角的な知識を有し、より良いくらしの環境の創造を目指すことができる。	くらしの環境のあり方を踏まえて広く人間存在について考察し、より良い住空間を実現するために努力することができる。	日本語能力に優れ、論理的で説得力のある口頭発表ができ、明晰な文章を書くことができる。	住まいとくらしの問題を把握し、自立した社会人にふさわしい責任感を持って共同作業に従事することができる。	住まいとくらしに関するテーマについて論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	住まいとくらしに関する事例について論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	住空間デザインに関する多様な技術力を有し、幅広い視点から課題に向き合い、実践することができる。	自らすすんで課題を見つけ、解決に向けた計画手順を立て、実践することができる。
	到達度lv3	くらしの環境に関する基礎的な知識を有し、自らの問題として考えることができる。	くらしの環境のあり方について問題点を指摘し、より良い住空間を実現するために努力することができる。	日本語能力が高く、形式に沿った口頭発表ができ、わかりやすい文章を書くことができる。	住まいとくらしの問題について説明することができ、他者とスムーズに共同作業をすることができる。	住まいとくらしに関するテーマについて、多角的に情報を整理した上で根拠を示しつつ考察することができる。	住まいとくらしに関する事例について、その反証となる実例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	住空間デザインに関する多様な技術力を有し、課題に応じて実践することができる。	自らすすんで課題を見つけ、解決に向けた計画手順を立てることができる。
	到達度lv2	くらしの環境に関する基礎的な知識を有し、問題点を指摘することができる。	くらしの環境のあり方について自分なりのポリシーを持ち、自己を表現することができる。	日本語能力があり、自らの考えをわかりやすく説明することができる。	住まいとくらしの問題について一通り説明することができ、共同作業に加わることができる。	住まいとくらしに関するテーマについて、多角的に情報を整理し、処理することができる。	住まいとくらしに関する事例について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	住空間デザインに関する基礎的な技術力を有し、自分なりに応用しながら実践することができる。	与えられた課題に対して、解決に向けた計画手順を立て、実践することができる。
	到達度lv1	くらしの環境について、自分の知っていることを述べるができる。	くらしの環境のあり方に沿ったルールやマナーを尊重することができる。	基礎的な日本語能力があり、人前で物事の簡単な説明ができる。	住まいとくらしの問題についてある程度説明することができる。	住まいとくらしに関するテーマについて、情報を集め、処理することができる。	住まいとくらしに関する事例について批判的に対することができる。	住空間デザインに関する基礎的な技術力を有し、実践することができる。	与えられた課題に対して、解決に向けた計画手順を立てることができる。

人文学部メディア表現学科 学修指針・学修到達度									
ディプロマポリシー	全学DP	自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成	自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成	社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成	文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成				
	学科DP	高度情報化社会におけるメディアに関する広汎な知識と、人間存在に関する理解力の養成	情報を的確に扱える情報表現力と、誰にでもわかりやすく説明できるプレゼンテーション力、積極的・主体的に社会に係わりようとする社会性の養成	さまざまなメディアの情報を専門的な知識で活用しながら新しいものを生み出すことのできる情報表現力と、的確な判断を示すことのできる思考力の養成	メディア表現に関わる機器を使いこなす技術力と、表現を作品に仕上げることのできるデザイン力・実行力の養成				
学修指針		教養力	人間性	コミュニケーション力	社会性	専門力	判断力	技術力	実践力
学修指針・学修到達度	到達度lv4	高度情報化社会におけるメディアに関する多角的な知識を有し、より良い文化の創造を目指すことができる。	高度情報化社会におけるメディアのあり方を踏まえて広く人間存在について考察し、より良い自己の実現を実践することができる。	情報を的確に扱える情報表現力があり、論理的で説得力のあるプレゼンテーションができ、明晰な文章を書くことができる。	現代社会の仕組みを把握し、自立した社会人にふさわしい責任感を持って共同作業に従事することができる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理し、根拠をもとに新しい視点で結論を導き出すことができる。	先行研究・課題について論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。	専攻する研究対象について、独自の分析方法を確立し、説得力のある結論として作品に仕上げることができる。	自らすすんで眼前の問題と向かい合い、自分なりの方法を駆使して、計画的に解決にまで導くことができる。
	到達度lv3	高度情報化社会におけるメディアに関する基礎的な知識を有し、自らの問題として考えることができる。	高度情報化社会におけるメディアのあり方について問題点を指摘し、より良い自己を実現するために努力することができる。	情報を的確に扱える情報表現力があり、形式に沿ったプレゼンテーションができ、わかりやすい文章を書くことができる。	現代社会の仕組みを説明することができる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理した上で根拠を示しつつ考察することができる。	先行研究・課題について、その反証となる実例を挙げつつ、論理的に批判することができる。	専攻する研究対象について、複数の分析方法を組み合わせさせて解決を探るための作品に仕上げることができる。	自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決に向けて実行すべき手順を把握することができる。
	到達度lv2	高度情報化社会におけるメディアに関する基礎的な知識を有し、問題点を指摘することができる。	高度情報化社会におけるメディアのあり方について自分なりのポリシーを持ち、自己を律することができる。	情報を的確に扱える情報表現力があり、自らの考えをわかりやすく説明することができる。	現代社会の仕組みを理解し、ニーズに応えることができる。	専攻するテーマについて、多角的に情報を整理することができる。	先行研究・課題について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。	専攻する研究対象について、一つの分析方法を用いて結果をまとめることができる。	自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決を求めて模索することができる。
	到達度lv1	高度情報化社会におけるメディアについて、自分の知っていることを述べるることができる。	高度情報化社会におけるメディアのあり方に沿ったルールやマナーを尊重することができる。	情報を的確に扱える情報表現力があり、人前で物事の簡単な説明ができる。	現代社会の仕組みを理解し、説明することができる。	専攻するテーマについて、情報を集めることができる。	先行研究・課題について批判的に対することができる。	専攻する研究対象について、一つの分析方法を持つことができる。	眼前にある課題に対して、その問題を解決しようとするることができる。